

CONFIDENTIAL

Copyright © 2007 by Zenkukai.

No part of this publication may be reproduced, stored in retrieval system, or transmitted in any means
electronic, mechanical, photocopying, recording, or otherwise without the permission of Zenkukai.

This document provides an outline of a presentation and is incomplete
without the accompanying oral commentary and discussion.

今後の超高齢社会を見据えた 社会福祉法人善光会の取り組みについて

社会福祉法人 善光会
理事 宮本隆史

1. 介護施設を取り巻く社会背景

2. 社会福祉法人善光会について

3. 人員配置の変遷

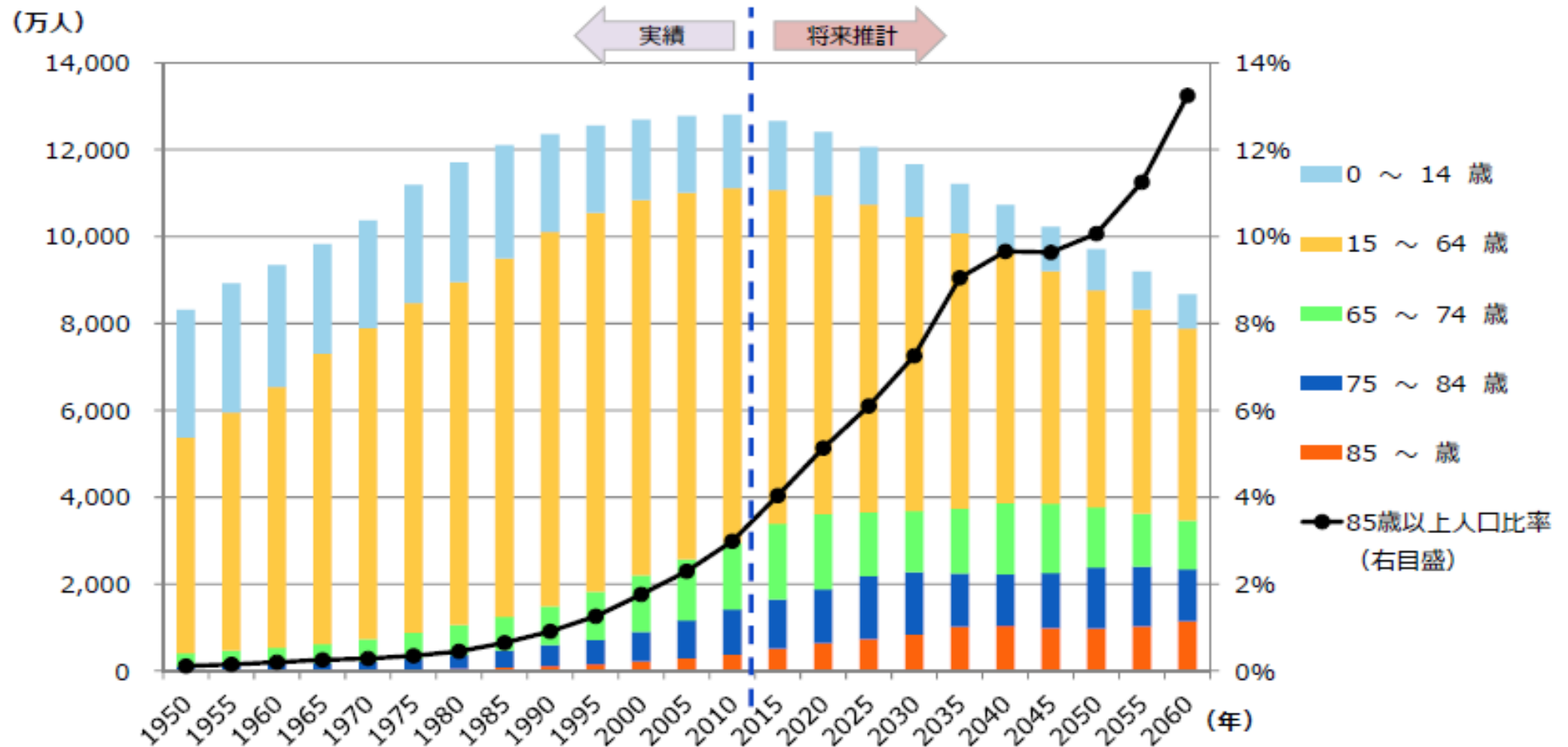
4. 今後に向けて

将来人口推計

CONFIDENTIAL

高齢者人口は拡大し続ける。85歳以上人口比率は急拡大。

日本の将来人口推計



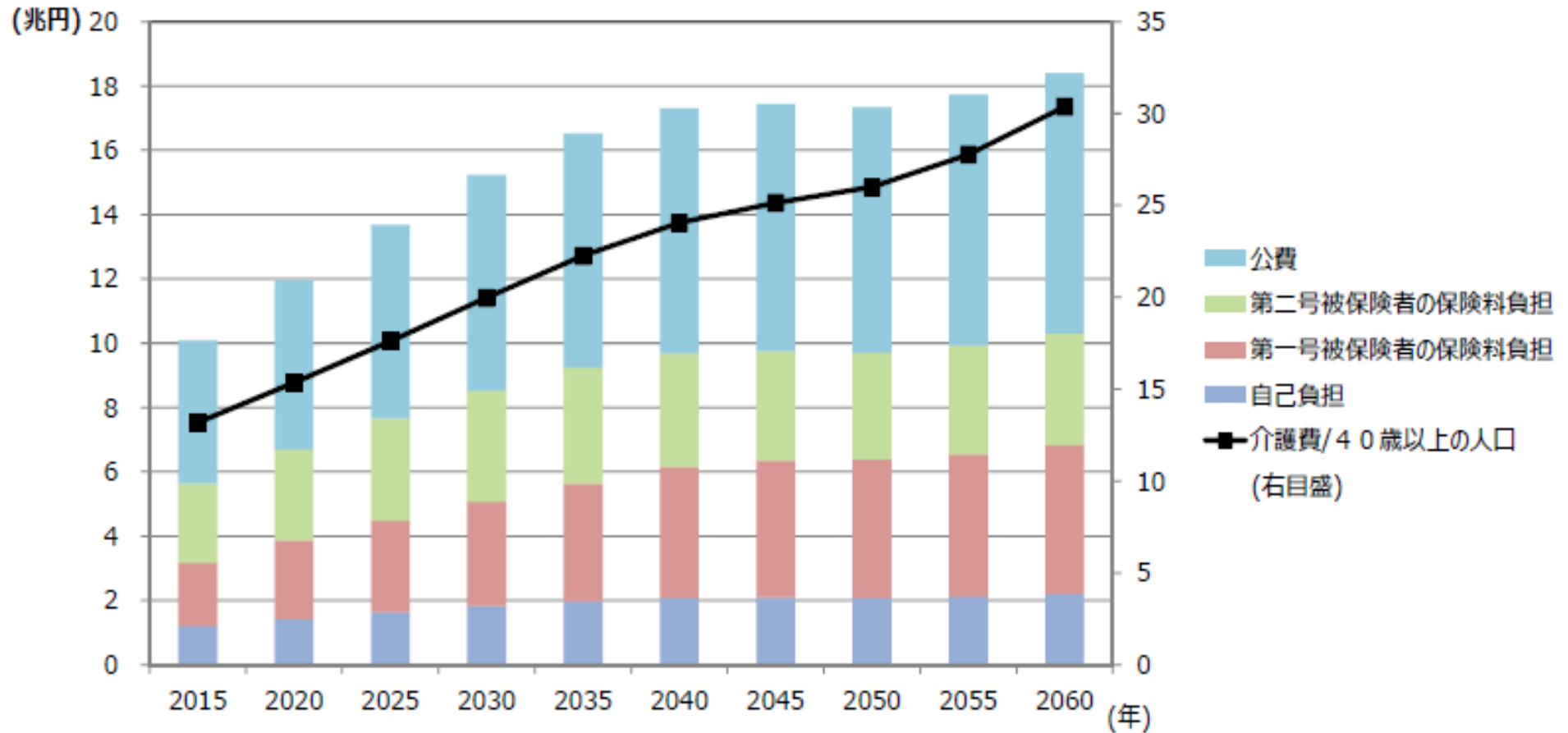
(出典) 経済産業省 「将来の介護需要に即した介護サービス提供に関する研究会報告書(2016年3月)」より転載

介護費の将来推計

CONFIDENTIAL

介護費も増え続け、2035年には16兆円規模となる推測。

介護費の将来推計



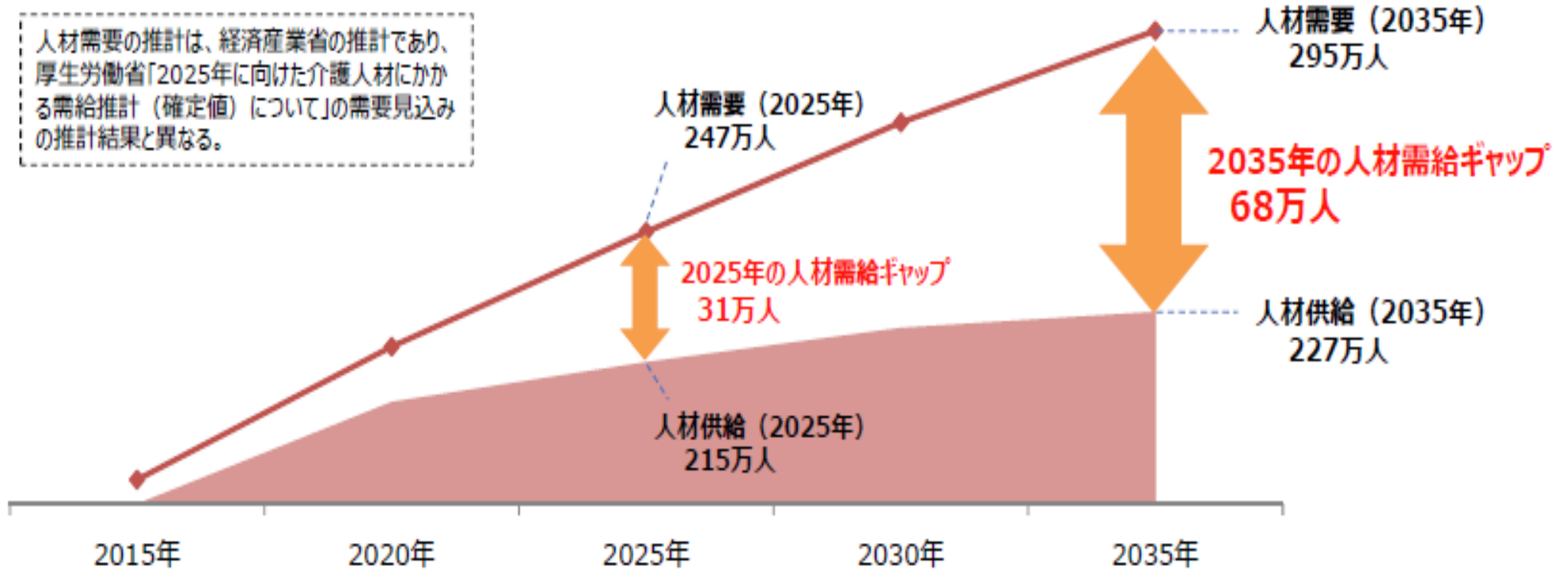
(出典) 経済産業省 「将来の介護需要に即した介護サービス提供に関する研究会報告書(2016年3月)」より転載

介護を取り巻く問題

CONFIDENTIAL

人不足は加速化している。2035年時点では68万人が不足見込。
介護職員が働きやすい環境を構築することが必要。

介護職員の需給の将来推計



（出典）経済産業省 「将来の介護需要に即した介護サービス提供に関する研究会報告書（2016年3月）」より転載

1. 介護施設を取り巻く社会背景

2. 社会福祉法人善光会について

3. 人員配置の変遷

4. 今後に向けて

法人概要

CONFIDENTIAL

社会福祉法人善光会は、国、都、区より補助と寄付を受け、平成19年4月、東京都大田区に日本最大級の複合福祉施設を設立。

事項	概要
法人名称	社会福祉法人 善光会
設立年月日	平成17年12月7日
代表者	理事長 梅田 茂
本部所在地	〒144-0033 東京都大田区東糀谷六丁目4番17号
従業員数	467名（平成30年6月1日現在）
基本金	825.5百万円(平成30年度)

年月	沿革
平成17年12月	法人設立認可
平成18年1月	複合福祉施設「サンタフェ ガーデン ヒルズ」着工
平成19年3月	複合福祉施設「サンタフェ ガーデン ヒルズ」竣工
平成19年4月	複合福祉施設「サンタフェ ガーデン ヒルズ」開業 特別養護老人ホーム「フローズ東糀谷」 介護老人保健施設「アクア東糀谷」 障害者支援施設「アミークス東糀谷」
平成19年10月	居宅介護支援事業所「東糀谷ケアサポートセンター」開業
平成21年12月	管理センター設置
平成22年6月	認知症対応型グループホーム「フラクタル ビレッジ 西六郷」開業
平成22年7月	認知症対応型グループホーム「フラクタル ビレッジ 羽田」開業
平成23年5月	認知症対応型グループホーム「フラクタル ビレッジ 大森南」開業
平成24年5月	特別養護老人ホーム「バタフライ ヒル大森南」開業
平成25年5月	特別養護老人ホーム「バタフライ ヒル細田」開業
平成27年4月	ケアサポートセンター「リンクス羽田」開業
平成29年10月	サンタフェ総合研究所 設立

運営施設

CONFIDENTIAL

社会福祉法人善光会は東京都大田区を中心に、都内に6施設14事業を運営。



▲ サンタフェ ガーデンヒルズ



▲ 西六郷



▲ 大森南



▲ 羽田



大森南



細田

名称	サンタフェ ガーデン ヒルズ
開設日	平成19年4月1日
所在地	東京都大田区東糀谷
用途	特別養護老人ホーム 180床 障害者支援施設 40床 介護老人保健施設 100床 通所（3事業） 65名

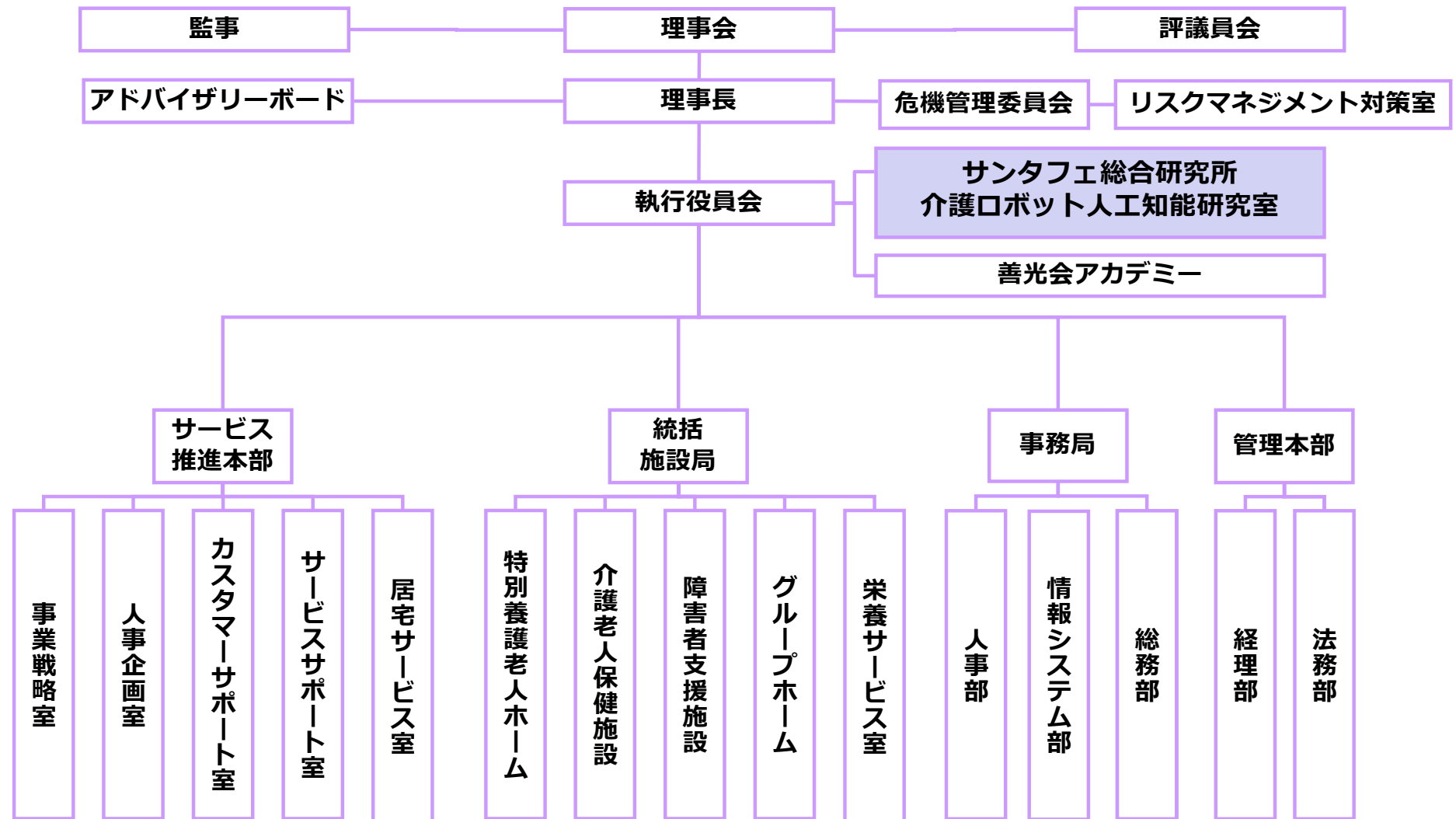
名称	フラクタルビレッジ
開設日	平成22年6月1日（西六郷） 平成22年7月1日（羽田） 平成23年5月1日（大森南）
所在地	東京都大田区西六郷 東京都大田区羽田 東京都大田区大森南
用途	グループホーム（西六郷）18床 グループホーム（羽田）18床 グループホーム（大森南）18床 （認知症対応型共同生活介護）

名称	バタフライヒル
開設日	平成24年5月1日（大森南） 平成25年5月1日（細田）
所在地	東京都大田区大森南 東京都葛飾区細田
用途	特別養護老人ホーム（大森南）90床 特別養護老人ホーム（細田）92床

組織図

CONFIDENTIAL

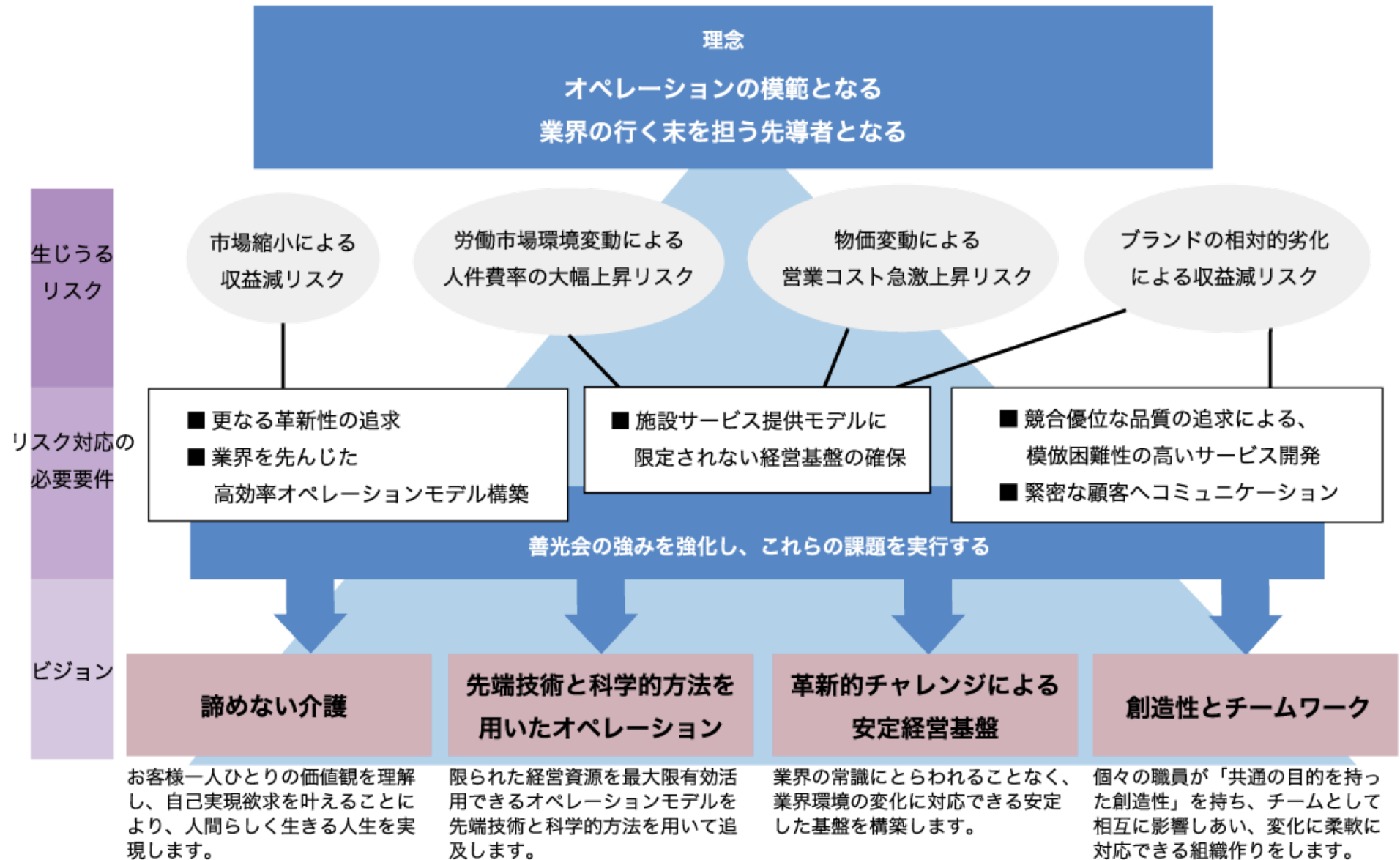
善光会では、介護ロボット活用の研究を平成21年より開始、平成25年8月から正式な組織として介護ロボット研究室を設置、平成28年7月に人工知能を研究対象に追加、平成29年10月よりサンタフェ総合研究所を設立し、さらなる研究活動を推進しようと考えている。



善光会のビジョン

CONFIDENTIAL

シナリオプランニングを用いて将来的なリスクを想定し、4つのビジョンを2017年に新たに策定。



Shared Value

CONFIDENTIAL

お客様に「人間らしく生きる人生」を歩んで頂きたい。

Shared Value

善光会は、利用者様に誰もが求める『人間らしく生きる人生』を歩んで頂くために利用者様とその家族と職員とが一丸となり、その実現に向けて真に必要なサービスを提供する。

『人間らしく生きる人生』とは、自らの意思（願望や欲求）で頭（＝脳）を使ったり、動いたり、食べたり、寝たりして、生きているという実感を自ら味わいながら生きる、希望に満ちた人生のこと。
真に必要なサービスとは、**衰えていく過程のどこかで『人間らしく生きる人生』を諦めてしまっていた気持ちと、その気持ちにさせてしまった周り（家族や職員）の環境と意識を変えて、
『人間らしく生きる人生』の実現を諦めずにやり続けるサービスのこと。**

善光会の職員は、寄付者や国民の方々からの『社会のために』という願いを込めたお金で生活が成り立っていることを理解し、また感謝し、その寄付者や国民の願いとお金を無駄にせず、実現する代役として真に必要なサービスを世の中に広げていき、頑張ろうとする前向きな高齢者や障害で福祉サービスが必要とする方、家族を増やし、日本の福祉の活性化に貢献する。

寄付者や国民の方々からのお金を無駄にしないためにも、職員は施設の存続・充実・発展のために健全な収益の確保に努めなくてはならない。

誰もが求める『人間らしく生きる人生』を歩んで頂くための真に必要なサービスを提供するということは、諦めがちな高齢者や障害で福祉サービスが必要とする方、家族に幸せを与えることにつながり、それを世の中に広げていくことで日本の福祉や社会全体を活性化させるという
良い影響を与えることにつながります。

先端技術の導入

CONFIDENTIAL

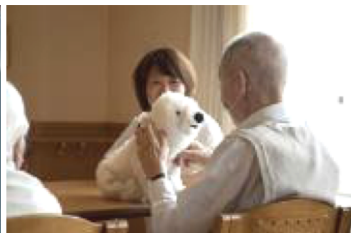
設立当初より先端技術を積極的にとりいれた施設運営を展開。



**誰も見たことも無い、
新しい介護の姿を追い求める。**

新しい考えや技術を積極的に取り入れることで、介護業界に新たな風を吹かせる。それが私たちの使命です。

介護ロボット研究室



空間除菌装置 リスパス®



善光会では、日本で初めてウイルス除去・除菌・消臭効果のあるリスパス®を全施設に導入しています。

iPhone/iPadアプリ



介護福祉業界では初となるApple社のiPhone/iPadアプリケーション「介護マニュアル」を無料公開しています。

ブライトケア照明装置



一部施設では認知症進行予防効果があるとされるブライトケア照明を設置しています。

お客様の満足度向上、職員の業務負担軽減、スキルアップを目的とした介護ロボットの研究、開発を実施する専門部署です。

新たな機器の試験運用や販売を視野に入れた独自開発を行っています。

CONFIDENTIAL

ロボットスーツHAL

平成21年よりロボットスーツHALを導入、共同研究を進めてきた。



※ロボットスーツHALは
CYBERDYNE（株）の製品

左半身麻痺による重度の歩行障
害を持つ利用者のケース

HALを用いた機能訓練プログラム



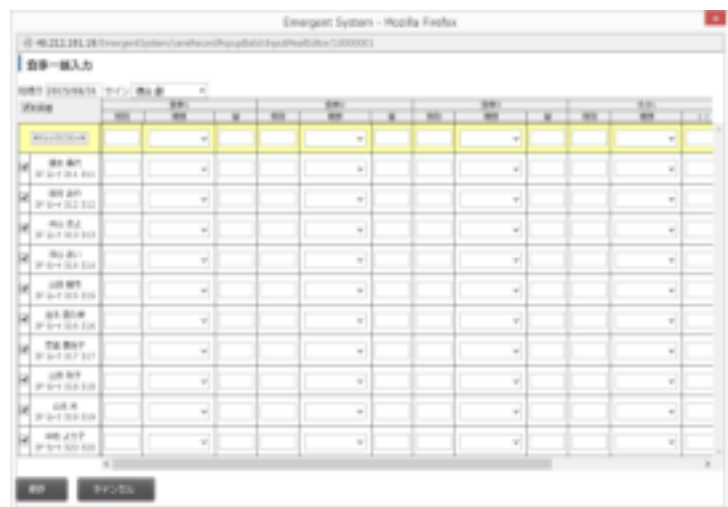
介護システムの自社開発

CONFIDENTIAL

質の高いサービス提供を目的に他職種連携の下、介護システムを自社開発。

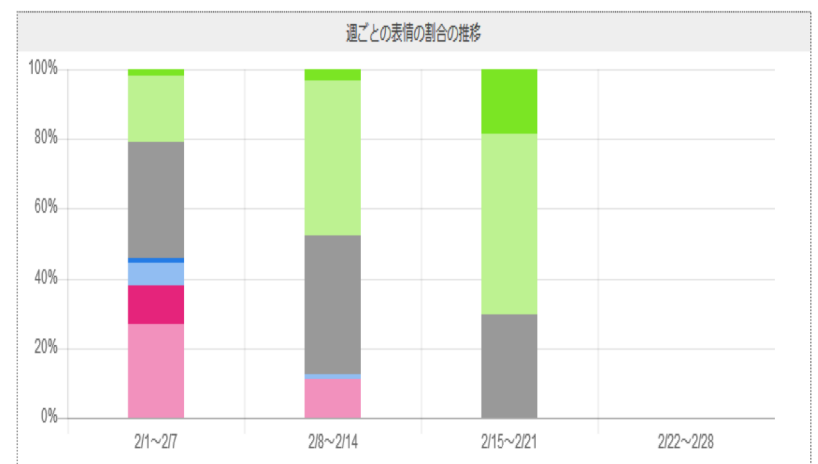
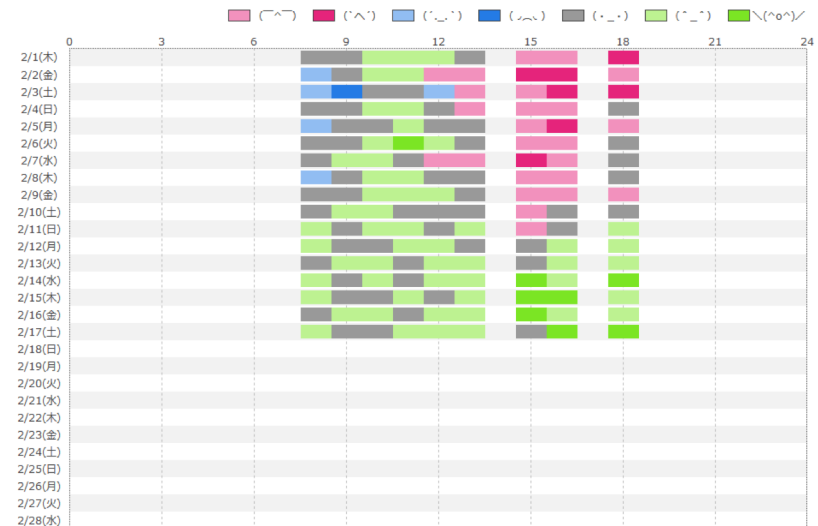
Emargent System(介護記録)

介護記録・請求・ケアマネジメント支援システム



Smile Scale(表情推移集計機能)

左記システムから出力できる利用者別の表情データ



1. 介護施設を取り巻く社会背景

2. 社会福祉法人善光会について

3. 人員配置の変遷

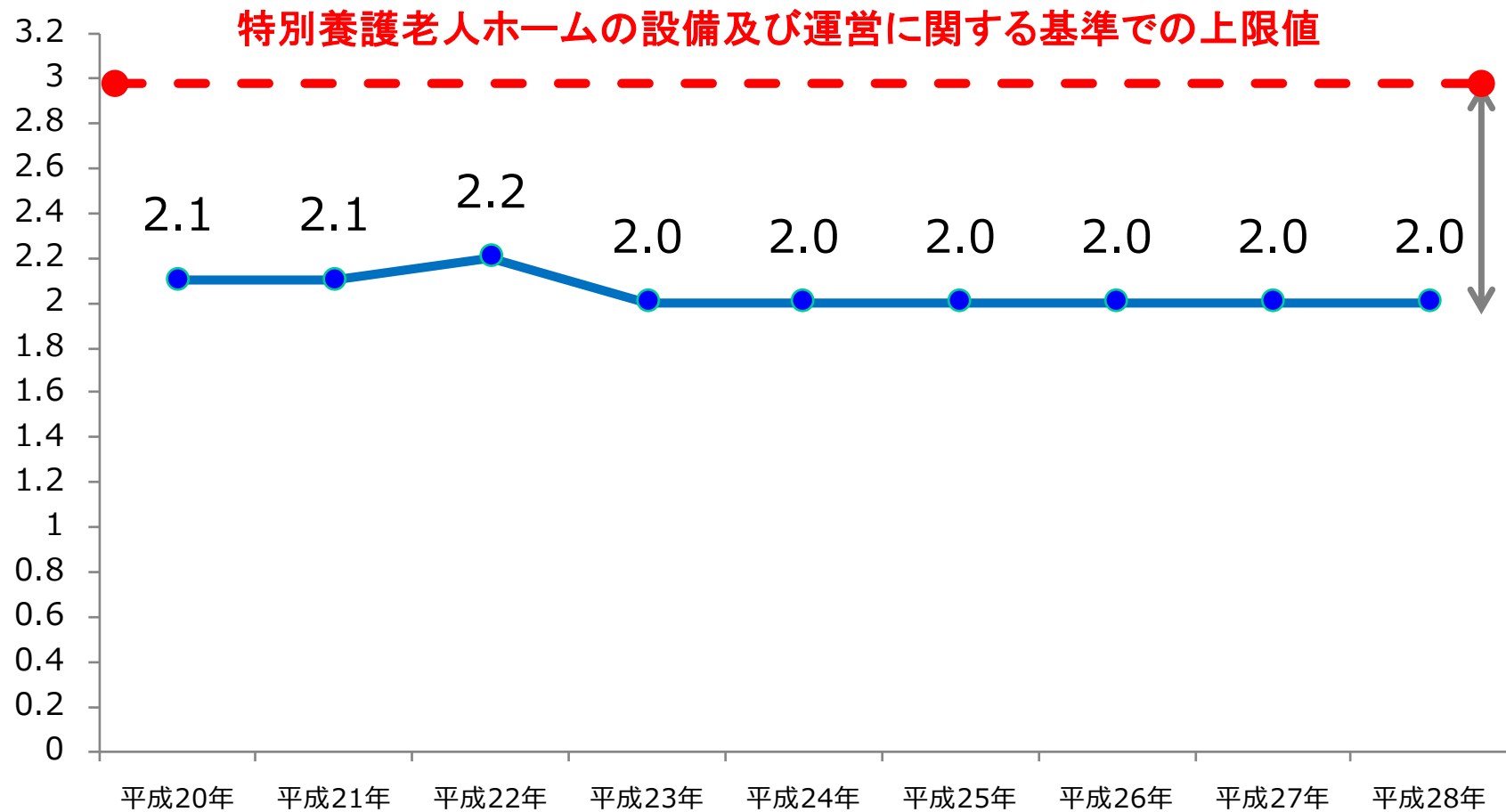
4. 今後に向けて

特別養護老人ホームの配置比率平均

CONFIDENTIAL

特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準で定められている常勤換算介護職員一人当たり在所要者数の3.0に対して、人員を多く配置している状況が続いている。

介護・看護職員配置比率の推移（在所要者/常勤換算職員数）

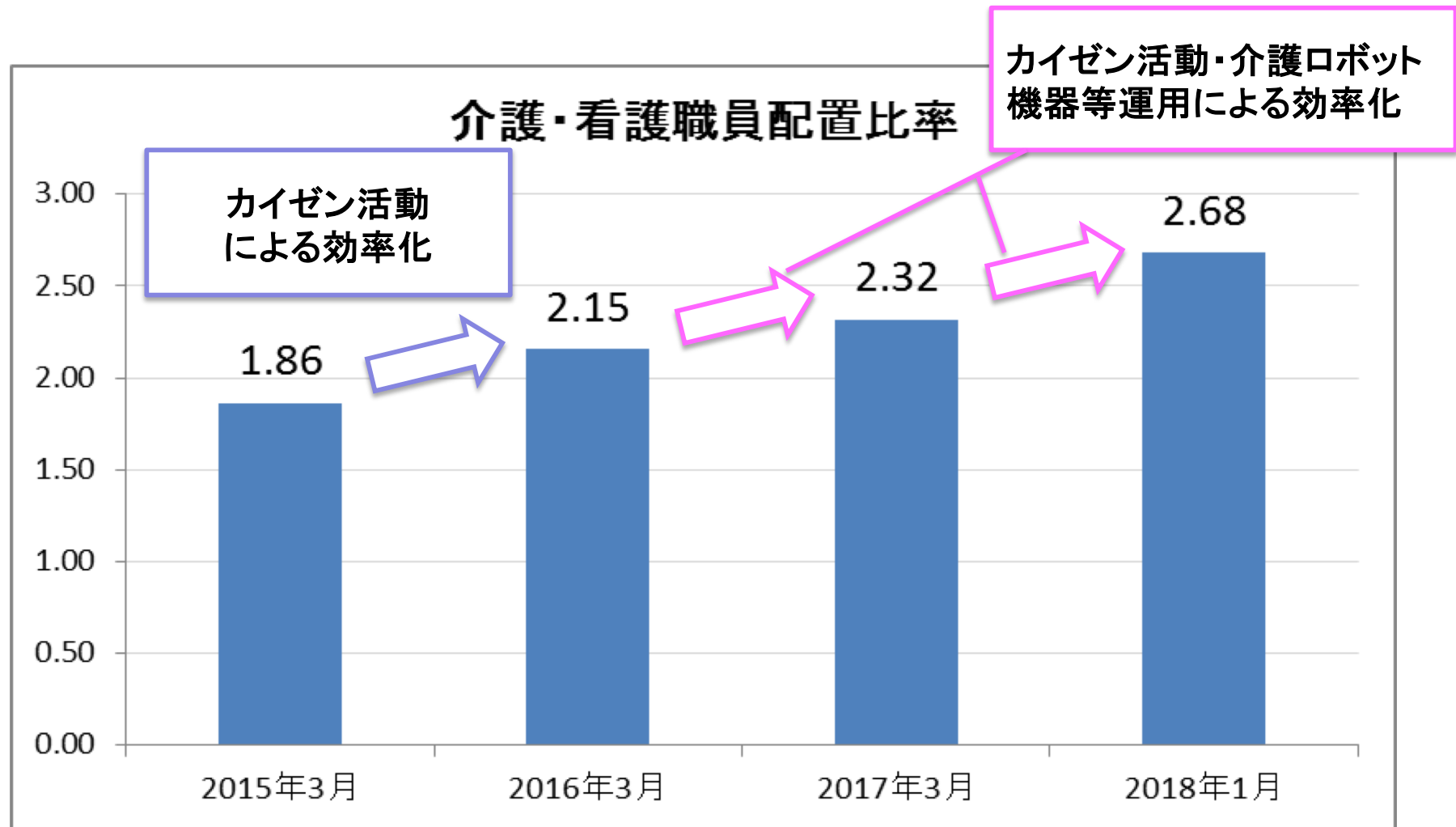


（出典）厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査の概況」（各年度）内の介護老人福祉施設、介護老人保健施設の常勤換算看護・介護職員1人当たり在所要者数をもとに作成

特別養護老人ホーム フロース東萩谷の人員配置推移

CONFIDENTIAL

フロース東萩谷では、カイゼン活動や介護ロボット機器等の利用による効率化で、人員配置比率に劇的な変化が起きはじめた。

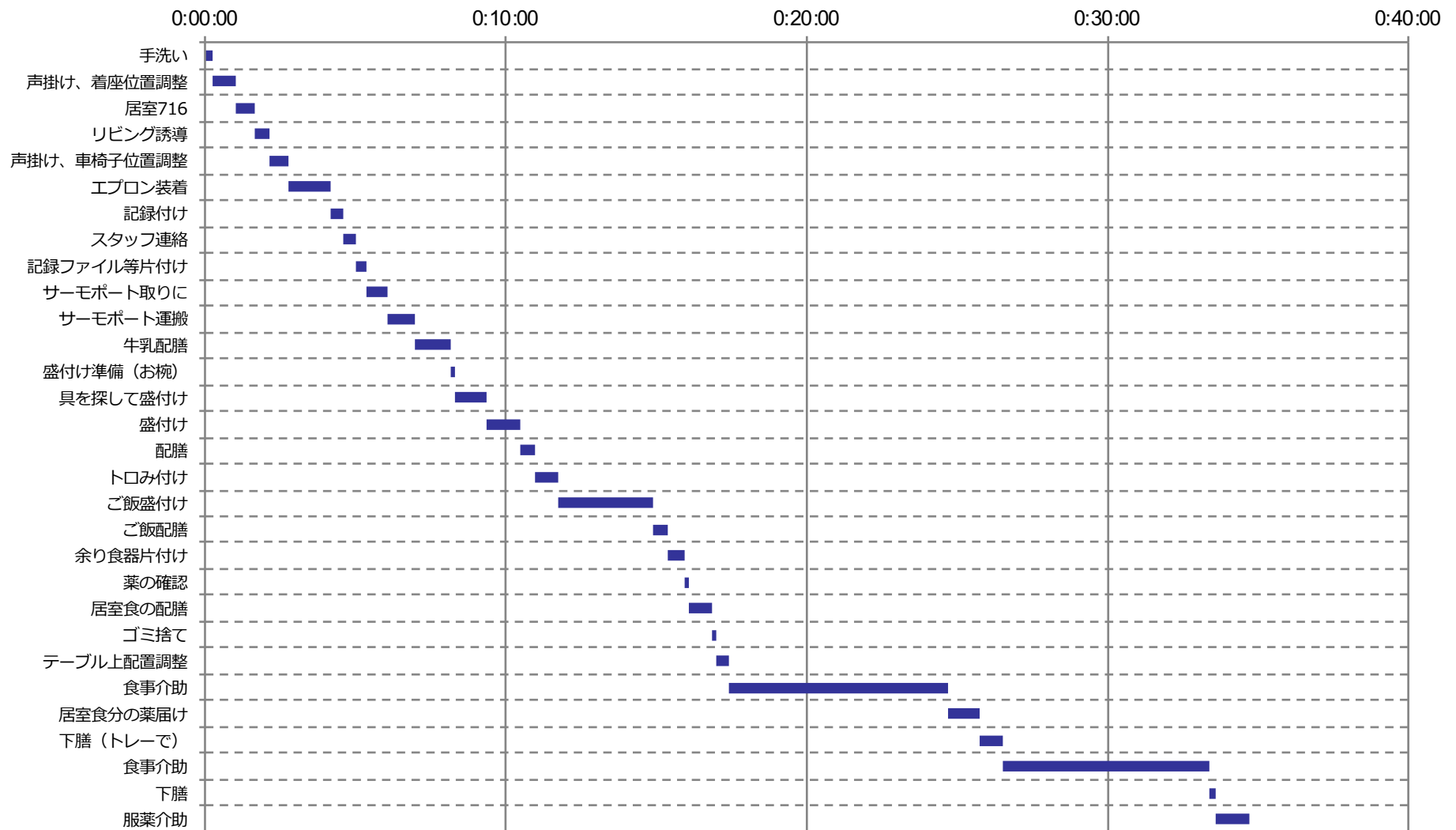


取組事例：改善活動

CONFIDENTIAL

ストップウォッチにて各介護業務にかかる時間を計測、ムリ・ムダ・ムラを無くす改善活動を実施、打ち手の一つとして外注・フロアサポート職の導入した。その他、介護ロボット機器の集中的導入、介護記録ソフトの自社開発など、効率化を進めている。

特定職員の動きの経過



取組事例：ハイブリッド特別養護老人ホームプロジェクト

CONFIDENTIAL

人とお金が出来ただけかからない介護サービス提供スキームを検討するため特別養護老人ホーム「フローズ東糀谷」「バタフライ ヒル細田」の特定ユニットにおいて介護職の介護業務時間を25%軽減することを目標に、介護ロボット機器の集中的導入を実施している。

集中的ロボット導入

特別養護老人ホーム「バタフライ ヒル細田」の特定ユニットに各種介護ロボット機器を集中的に導入する計画を進めている。

介護オペレーションを詳細に分析。ロボット機器がカバーしうる領域を定義。該当ユニットで生活する利用者の特性を詳細に分析。
誰が、いつ、どこで、どの機器を利用するかの詳細計画を定め、効果的に機器利用を実施する。

導入施設：

- ・フローズ東糀谷(東京都大田区)
- ・バタフライ ヒル細田(東京都葛飾区)



介護オペレーション×ロボット機器の検討

- 顧客特性

A様
B様
...

- オペレーション

入浴
排泄
食事
...

顧客特性、オペレーションにあわせて

機器選定、導入

- 移動
- 移乗
- 食事
- 入浴
- 排泄
- 見守り

体制

社会福祉法人 善光会

介護ロボット研究室

- 研究室長
- 研究員

PM、機器選定

事業戦略室

オペレーション分析

特別養護老人ホーム

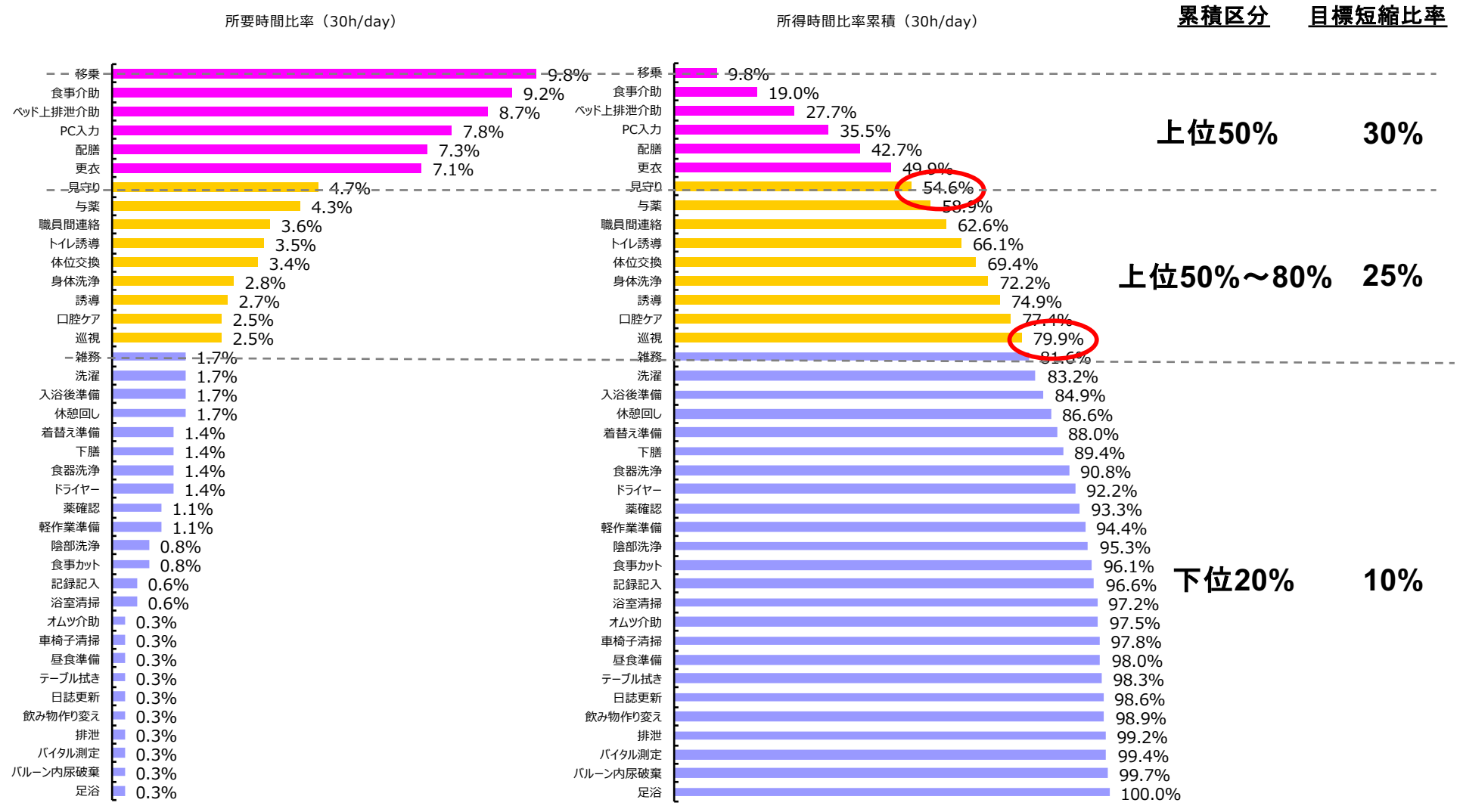
- 施設長
- 副施設長
- ユニットリーダ
- 機能訓練指導員

顧客分析、オペレーション遂行

負担軽減業務の優先順位と業務別目標

CONFIDENTIAL

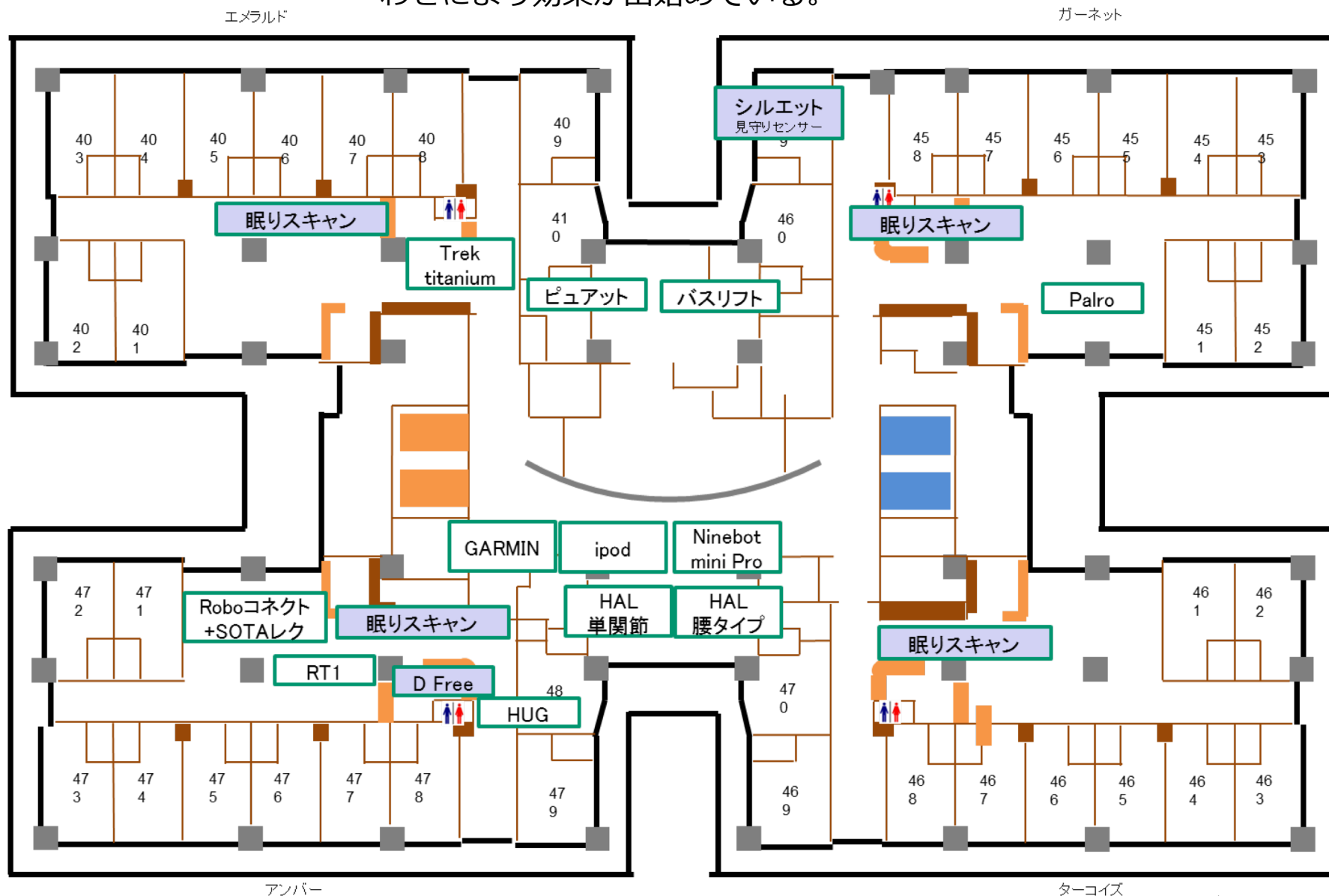
オペレーションを分析し、業務ごとの所要時間を算定。所要時間が長い業務の効率性向上をめざし、介護ロボット機器を導入した。



現場から見る介護ロボット活用ケース

CONFIDENTIAL

介護士にとって負担が大きい夜勤を中心に、いくつかの機器の組み合わせにより効果が出始めている。



特別養護老人ホーム フロス東糀谷の事例に基づく

見守り業務の改善イメージ

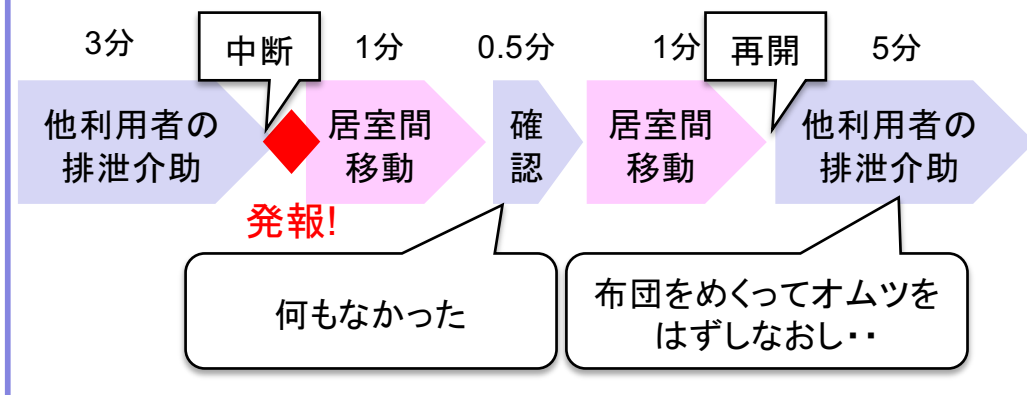
CONFIDENTIAL

見守り業務では、空振り確認等がなくなり業務時間が削減できた。

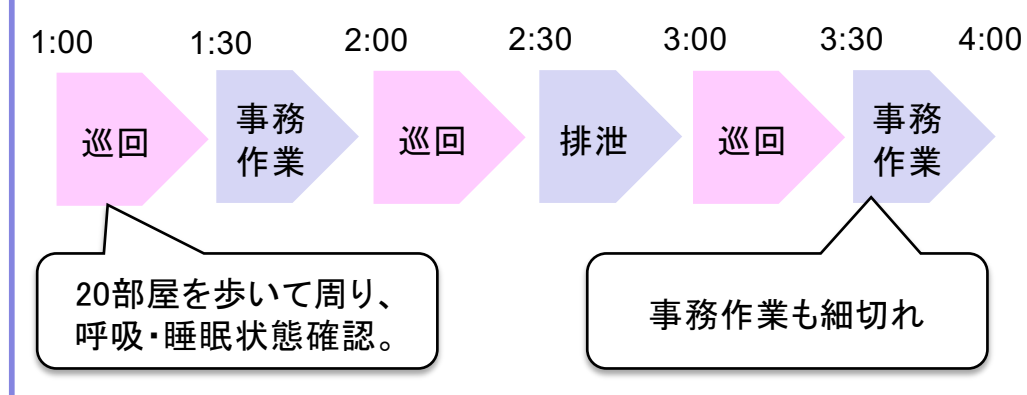
他の作業中に居室内センサーが発報したケース

深夜1:00~4:00特段の発報ないケース

現状



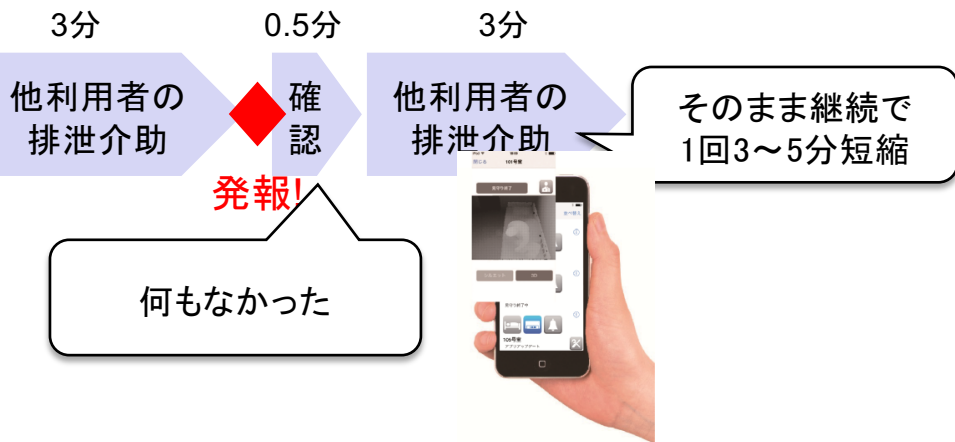
現状



見守りセンサー導入によって



見守りセンサー導入によって



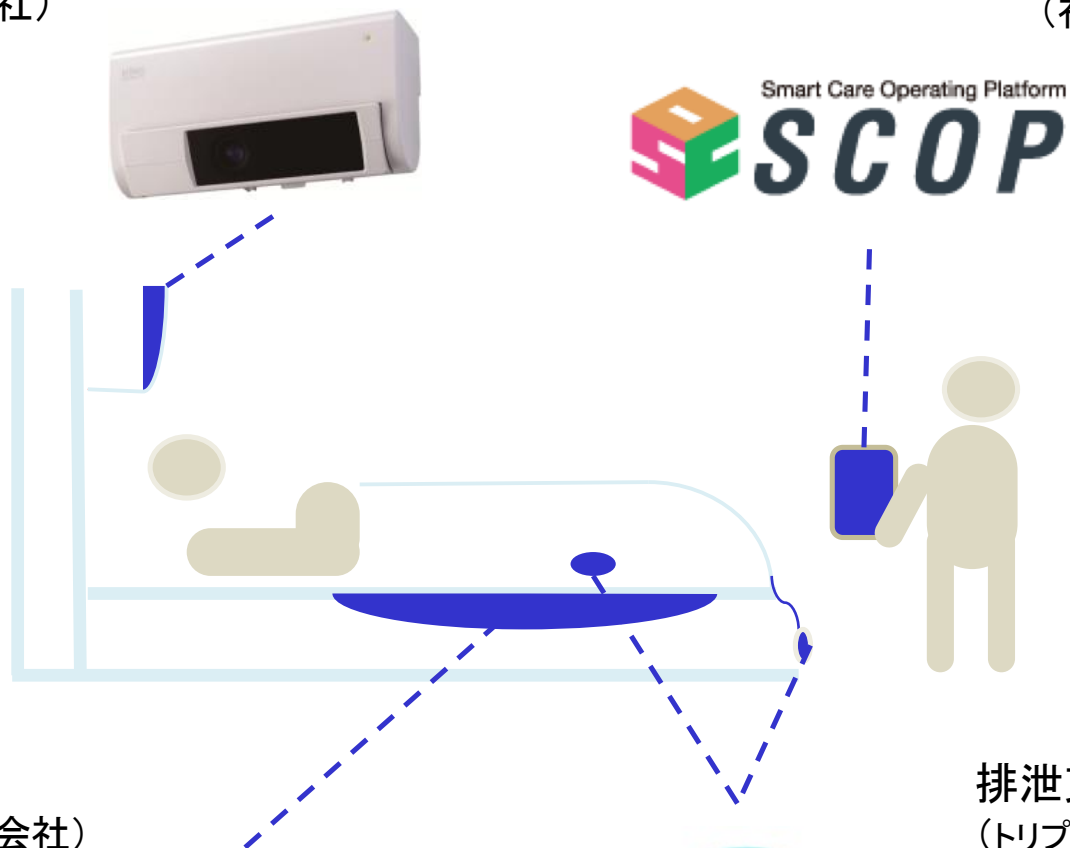
介護ロボット機器を使った効率的なオペレーション

CONFIDENTIAL

サンタフェ総合研究所として介護ロボット機器を活用したオペレーションの効率化の、支援をしております。

見守り: シルエット見守りセンサ
(キング通信工業株式会社)

介護業務支援: SCOP
(社会福祉法人 善光会)



見守り: 眠りSCAN
(パラマウントベッド株式会社)

排泄支援: Dfree
(トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社)



オペレーションでの人員配置

CONFIDENTIAL

見守り等の介護ロボット機器を導入し、カイゼン活動によって、
間接業務を見直した結果、オペレーションの効率化につながった。

2ユニット1名



1人1ユニット(食事介助・入浴介助は除く)



2ユニット1名



需要量	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	
unit A	0.5	0.5	0.5	1.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	19.3
unit B	0.5	0.5	0.5	1.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	19.3
unit 計	1	1	1	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	38.5
入浴	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.5
需要計	1	1	1	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	41.0
供給量	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	
夜勤明	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9.5
早番1	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	9.0
早番2	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	9.0
遅番1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	9.0
夜勤入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	7.5
供給計	1	1	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	1	1	44.0
供給-需要	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	
休憩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	3.0

介護ロボット
機器導入

見守り機器
排泄支援機器



空振り業務がなく
業務効率化

カイゼン活動

記録業務
リネン交換等



業務時間の変更
リネン等一部外注化

介護職員配置水準2.68レベルの
オペレーション

日中は1ユニット(10名)あたり1名
夜間は2ユニット(20名)あたり1名
+

食事介助、入浴介助、休憩交代等

介護ロボットの評価

CONFIDENTIAL

50種類程度の機器について評価を実施した。機器固有の価値について、費用対効果の切り口で評価を実施した。見守り分野については費用対効果が高いものが多く、推薦できる。

各機器評価表

「固有価値」

順位	機器	分野
1	A製品	排泄
2	B製品	見守り
3	C製品	見守り

評価軸に沿った独自評価

- サービス
- オペレーション
- コスト

評価プラットフォーム

CONFIDENTIAL

様々なウェアラブルデバイスを活用することで、オペレーションやケアの変更による効果を測定している。介護ロボットの発展・普及には介護現場から開発側への多角的フィードバック提供が不可欠。



心拍センサー



脈拍センサー

各種センサーで多角的に、かつ定量的に
介護ロボットの導入効果を測定する。

活動量・睡眠センサー



脈拍センサー



CONFIDENTIAL

介護業務の中での「見守り」

「見守りや巡回等の間接介助」を対象とする介護ロボット機器は、ロボティクス無しでも大きく業務効率化に貢献できる見込みがある。

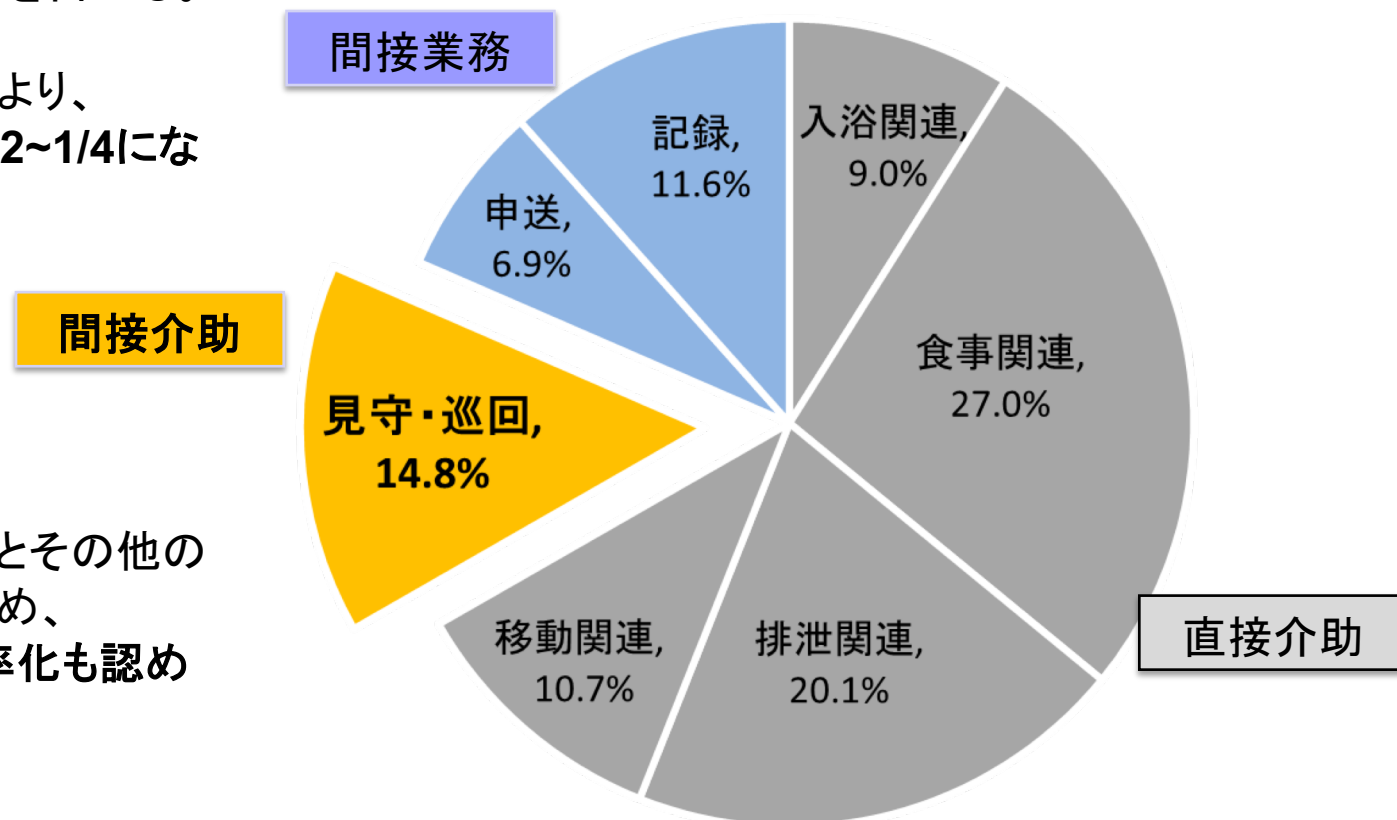
特に「見守り」については、センサーのIoT化が進み、一度に多数のお客様をリアルタイムモニタリングは、最も現実味が認められる分野。

間接介助は、介護職業業務の15%を占める。

各種見守りセンサー等の発達により、
この工程に必要な業務時間が1/2~1/4になる可能性は高い。

また見守り業務負担は軽減するとその他の作業を中断することがなくなるため、
「直接介助」と「間接業務」の効率化も認められる。

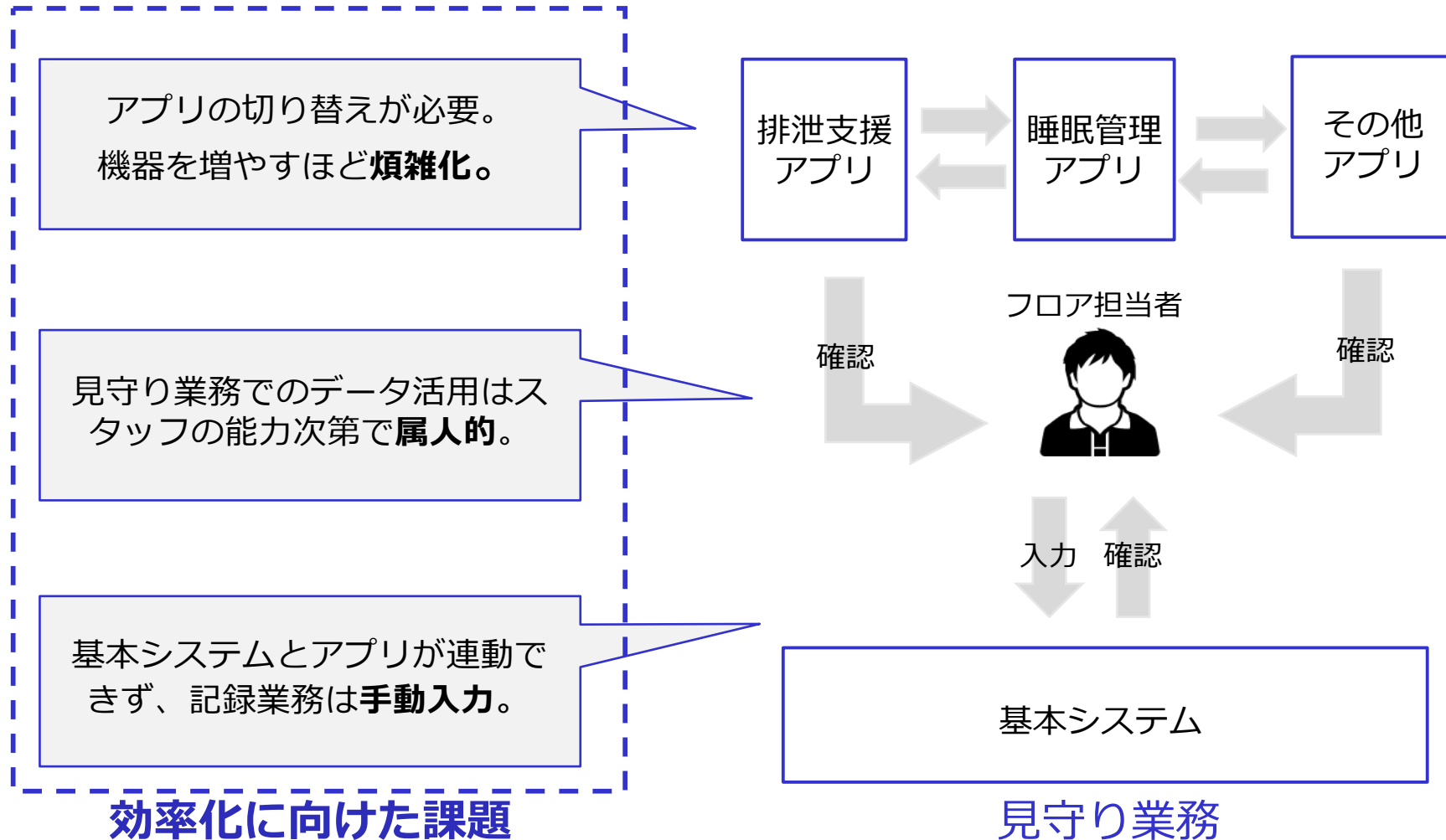
特養介護職の業務時間構成



介護ロボット機器使用上の課題

CONFIDENTIAL

現場での介護ロボットの運用では、機器利用による効果が出ている一方で、効率化に向けて具体的な課題が浮き彫りになった。

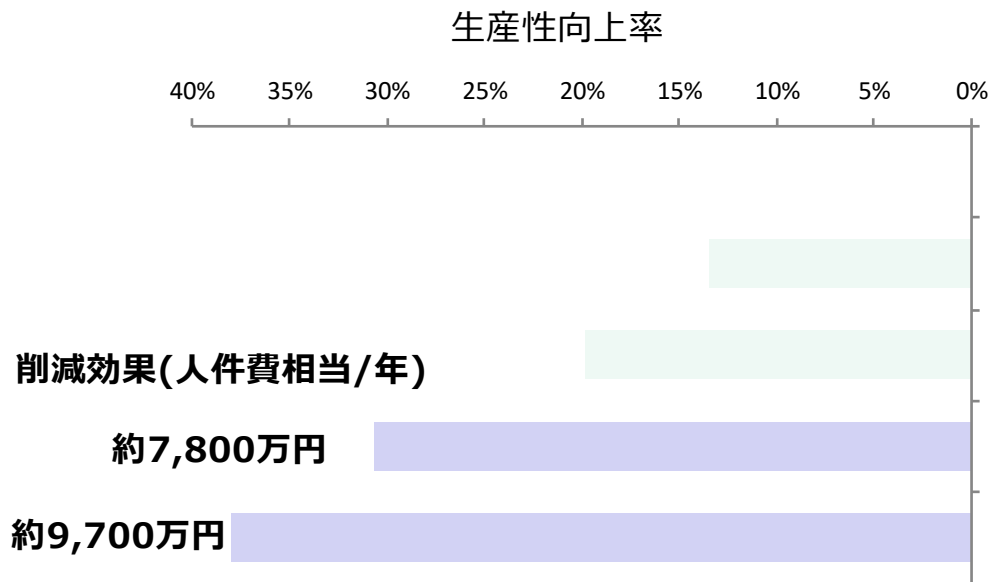


見守り時に有効な介護ロボットや機器が開発されているが、介護ロボットを利用することでオペレーションが効率化する効果を実感するにはまだまだ課題が残っている。

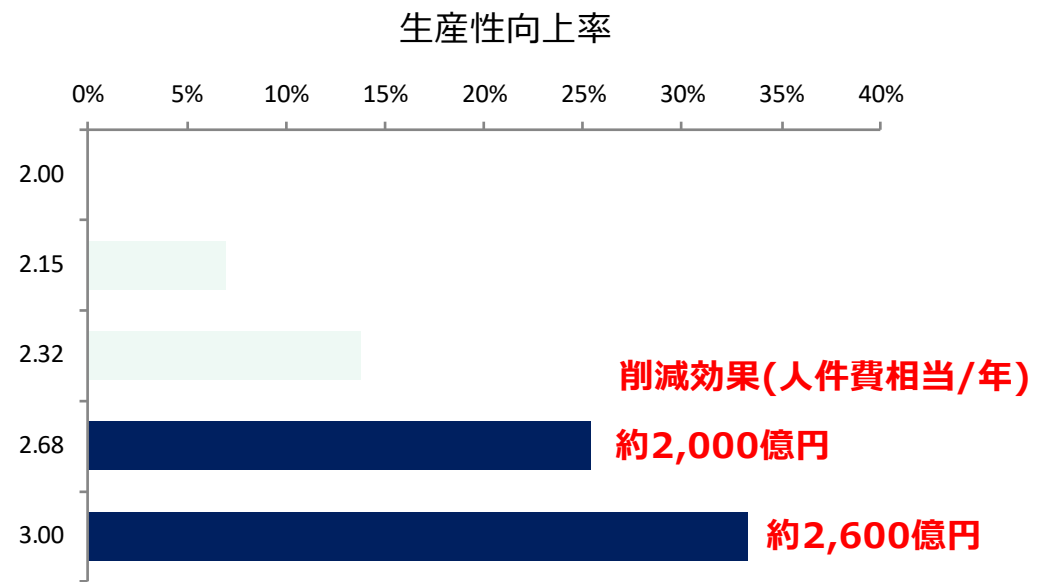
生産性向上および人件費削減効果

CONFIDENTIAL

フロー東糀谷では約30%の生産性向上につながり、年1億円程度の効果。同様に、2.68レベルの人員配置が普及すれば、理論上で年間2,000億円規模の削減効果につながると見込む。



フロー東糀谷



※データ参照元は、次ページの表を参照

特別養護老人ホーム全体（理論値）

**2.68レベルまでの効率化を行えば
約2,000億円規模(理論値)の削減につながると予測**
当法人はさらに3.0レベルのオペレーションを目指す

1. 介護施設を取り巻く社会背景

2. 社会福祉法人善光会について

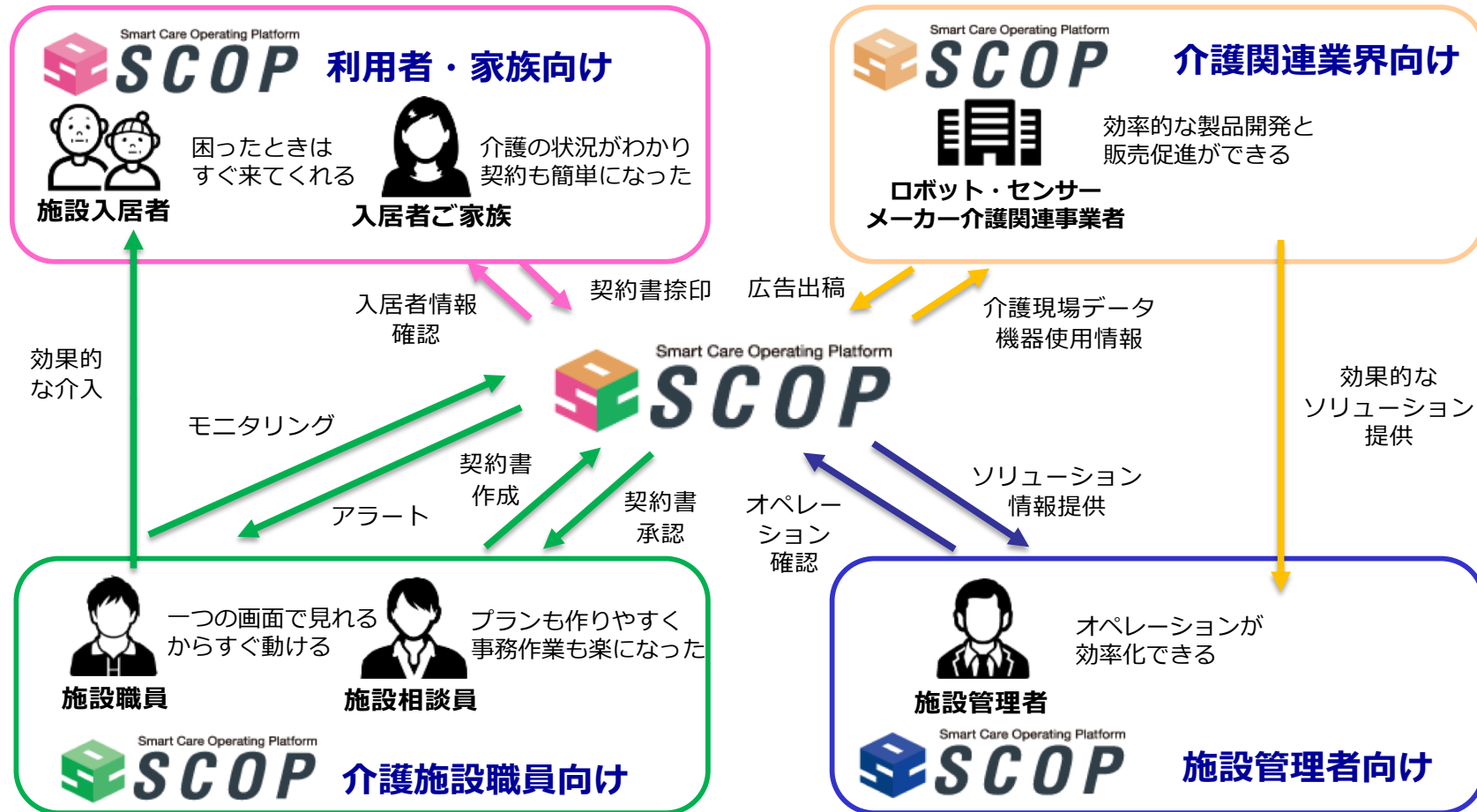
3. 人員配置の変遷

4. 今後に向けて

SCOPとは ～SCOPの全体像～

CONFIDENTIAL

ご入居者およびご家族、施設職員、施設管理者、介護ロボット機器メーカーをつなぐ情報連携プラットフォーム。



介護施設に関わる方全てのコミュニケーションを円滑にする情報連携プラットフォーム
Smart Care Operating Platform ～SCOP～

スマート介護プラットフォーム

CONFIDENTIAL

社会福祉法人善光会サンタフェ総合研究所は、他社連携を前提とした無償の介護ロボット・ICT機器連携プラットフォーム「SCOP」の開発に着手します。



スマート介護プラットフォーム ～Smart Care Operating Platform (SCOP)～

介護職員

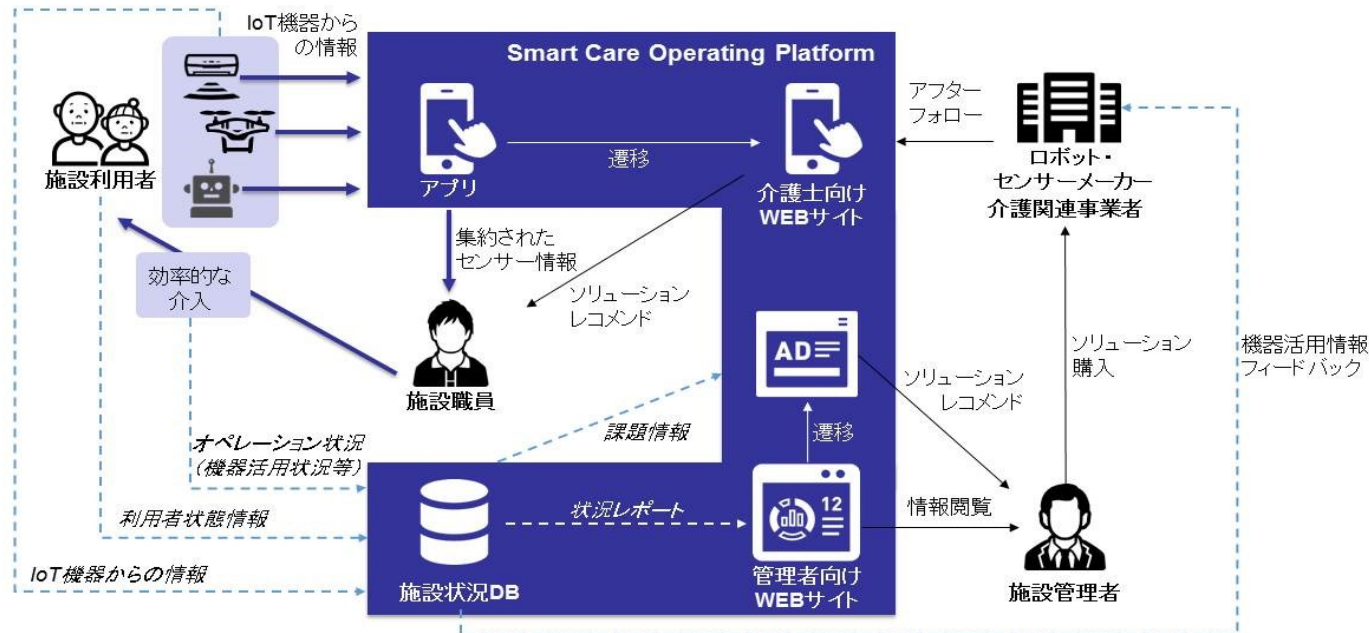
複数のIoT機器より施設利用者の情報を受領できることから、利用者に対して、利用者ごとの効果的な介入ができるようになります。

施設管理者

管理者向けwebサイトにより利用者状態や介入状態についてサマライズされた情報をリアルタイム確認できることから、現場を見える化し、現場で発生している問題に対して最適なソリューションを選択することができるようになります。

介護ロボット、ICT機器メーカー企業等

広告という形で最適なソリューションを施設管理者に提案できるようになります。また、機器の利用状況についてSCOPを通じてリアルタイムに確認できることで、ユーザーサポートに活用できるようになります。



なぜ、SCOPが必要なのか

CONFIDENTIAL

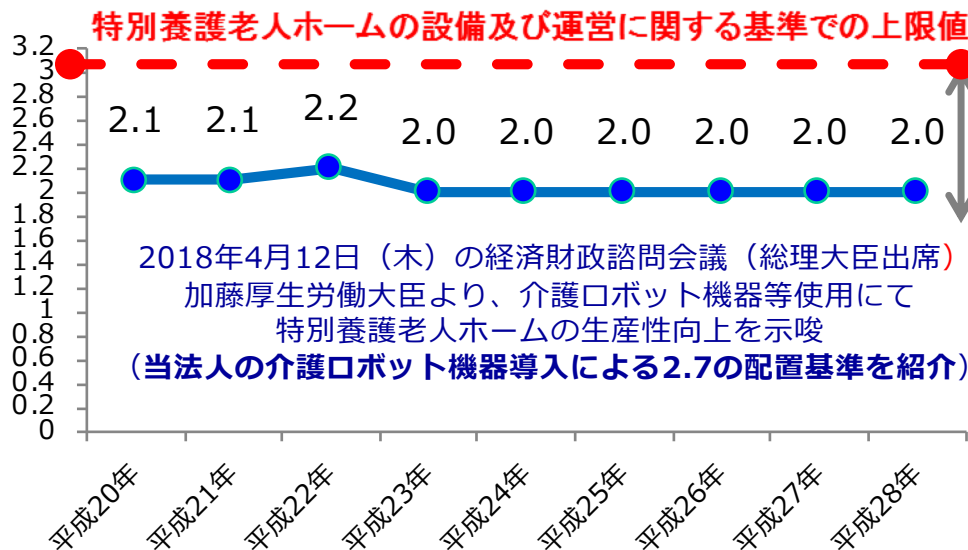
介護保険制度を支えていくため、①高効率の介護施設オペレーションモデル
②サービス提供量と質の適正化が必要。当法人では人員配置3.0を目指して
効率化を推進してきた。そこで介護ロボット機器の課題が見えてきた。

後期高齢者の増加による介護費の肥大化
介護職員不足の深刻化

介護保険制度を支えるため

①高効率の介護施設オペレーションモデル
②サービス提供量と質の適正化
が必要

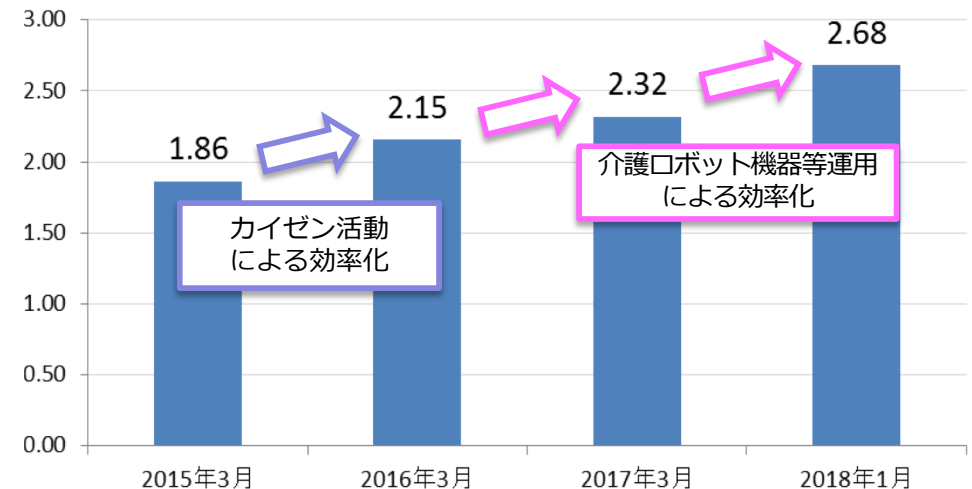
介護・看護職員配置比率の推移（在所者/常勤換算職員数）



（出典）厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査の概況」（各年度）内の介護老人福祉施設、介護老人保健施設の常勤換算看護・介護職員1人当たり在所者数をもとに作成

現状、特養では2:1の人員配置。
政府はロボット機器の導入により、3:1を目指す方針。

介護・看護職員配置比率



（出典）社会福祉法人善光会の特別養護老人ホーム「フローズ東穂谷」での介護・看護職員配置比率の推移

善光会では、業務効率向上を目指してロボット機器導入やカイゼン活動を実施してきた。
そこから、介護ロボット機器の導入・普及に際しての課題が見えてきた。

なぜ、SCOPが必要なのか

CONFIDENTIAL

見守り等の介護ロボット機器を導入し、カイゼン活動によって、
間接業務を見直した結果、オペレーションの効率化につながった。

機器活用や業務整理により、「**ユニットあたり1名の職員配置時間を増やすこと**」と
「**うまくシフトを組み合わせることで職員配置/日を減らすこと**」の二軸で2.7:1を実現した。

2ユニット1名

1人1ユニット(食事介助・入浴介助は除く)

2ユニット1名

需要量	600	700	800	900	1000	1100	1200	1300	1400	1500	1600	1700	1800	1900	2000	2100	2200	
unit A	0.5	0.5	0.5	1.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	19.3
unit B	0.5	0.5	0.5	1.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	19.3
unit 計	1	1	1	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	38.5
入浴	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.5
需要計	1	1	1	3	3	3	3	2	2	2	2	2	3	3	3	2	2	41.0
供給量	600	700	800	900	1000	1100	1200	1300	1400	1500	1600	1700	1800	1900	2000	2100	2200	
夜勤明	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9.5
早番1	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	9.0
早番2	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	9.0
遅番1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	9.0
夜勤入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	7.5
供給計	1	1	1	3	3	3	3	2	2	2	3	3	3	3	3	2	2	44.0
供給-需要	600	700	800	900	1000	1100	1200	1300	1400	1500	1600	1700	1800	1900	2000	2100	2200	
休憩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	3.0

介護ロボット
機器導入

見守り機器
排泄支援機器

空振り業務がなく
業務効率化

カイゼン活動

記録業務
リネン交換等

業務時間の変更
リネン等一部外注化

介護職員配置水準2.68レベルの
オペレーション

日中は1ユニット(10名)あたり1名
夜間は2ユニット(20名)あたり1名
+

食事介助、入浴介助、休憩交代等

なぜ、SCOPが必要なのか

CONFIDENTIAL

社会福祉法人善光会では介護ロボット機器の使用と新たなシステムを開発し、更なるオペレーションの効率化を目指す。

		人員配置 比率	常勤換算 (人)	生産性向上率 (%)	人件費相当 (千円/年)	
フローズ東糀谷 (善光会)	2015年度	1.86	86.0	-	254,000	-
	2016年度	2.15	74.4	13.5%	219,740	△ 34,260
	2017年度	2.32	69.0	19.8%	203,638	△ 50,362
	当年度 (Lv3)	2.68	59.7	30.6%	176,284	△ 77,716
	SCOP想定値	3.00	53.3	38.0%	157,480	△ 96,520
特別養護老人ホーム (全国)	現状	2.00	34.4	-	782,632,433	-
	Lv1	2.15	32.0	7.0%	728,030,170	△ 54,602,263
	Lv2	2.32	29.7	13.8%	674,683,132	△ 107,949,301
	Lv3	2.68	25.7	25.4%	584,054,054	△ 198,578,379
	SCOP想定値	3.00	22.9	33.3%	521,754,955	△ 260,877,478

※1 フローズ東糀谷の在所者は定員の160人、特別養護老人ホームの在所者は68人(平成28年介護サービス施設・事業所調査)。

※2 特別養護老人ホームは7705施設(平成28年介護サービス施設・事業所調査の概況)

※3 人件費相当は、常勤時給1615.931円(平成28年賃金構造基本統計調査内の福祉施設介護員より算定)と非常勤時給1110円(平成28年度介護従事者処遇状況等調査)を比例配分(常勤職員70.1%、非常勤職員(常勤以外)29.9%、介護労働安定センター平成28年度 介護労働実態調査結果)した時給1464,658円を8時間×21日×12ヶ月として乗じて算定。

**特別養護老人ホームの人員配置を2.7程度に高めれば、社会全体で約200億円の効果が期待。
さらにSCOPで3.0レベルまでの生産性向上を目指す。**

なぜ、SCOPが必要なのか

①高効率の介護施設オペレーション

CONFIDENTIAL

SCOPは現場の見える化とソリューション提供を進めるので、
施設管理者は介護ロボット機器導入に関する意思決定がしやすい。

	 施設職員	 施設管理者	 ロボット・センサー メーカー
介護ロボット機器 導入・普及の課題	アプリの切り替えが煩雑。 アプリを覚えるのが大変。	介護ロボットを導入するに あたって意思決定が大変	適切なタイミング・状況下で 施設管理者のソリューション提案 できない
SCOP による解決	必要な情報を一つの画面で確認 できる。 外国人や年齢、ITスキルに 関わらず誰でも使えるUI。	現場の課題や職員の意見が、 わかるので意思決定できる	介護現場の情報をもとに 必要なタイミング・状況に合わせ ソリューションを提供できる

**SCOPによる見やすく使いやすいUI環境や記録システムとの連携で、
介護現場の生産性向上だけでなく、
施設運営課題の特定と介護ロボット機器によるソリューション提供につながる。
だから、介護ロボット機器がますます普及する。**

なぜ、SCOPが必要なのか

②サービス提供量と質の適正化

CONFIDENTIAL

属人化された介護現場に対して、科学的な介護の実現に資するデータ蓄積を可能にする。

介護現場の課題

介護は人的サービスの側面が多く、
自立支援に向けたケアは属人的な風土

関係省庁の方向性

効果的な自立支援介護に向けた
エビデンスの蓄積

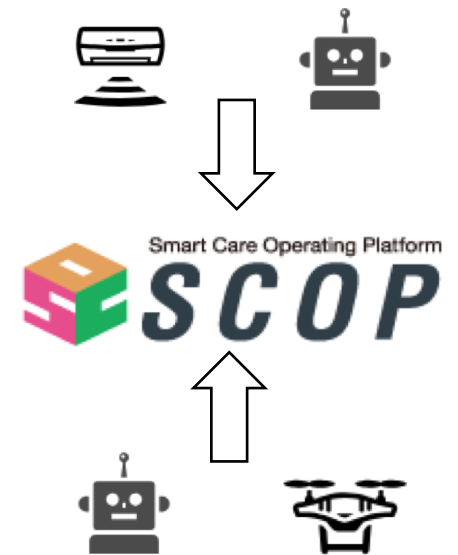
(厚生労働省

「科学的裏付けに基づく介護に係る検討会」

(平成29年10月より)

ビッグデータ収集の課題

- ・ データを集めるためのコスト
- ・ 介護現場の負担
- ・ データ形式の統一
- ・ 情報粒度の適正化
- ・
- ・
- ・



科学的な介護への背景

科学的な介護へのハードル

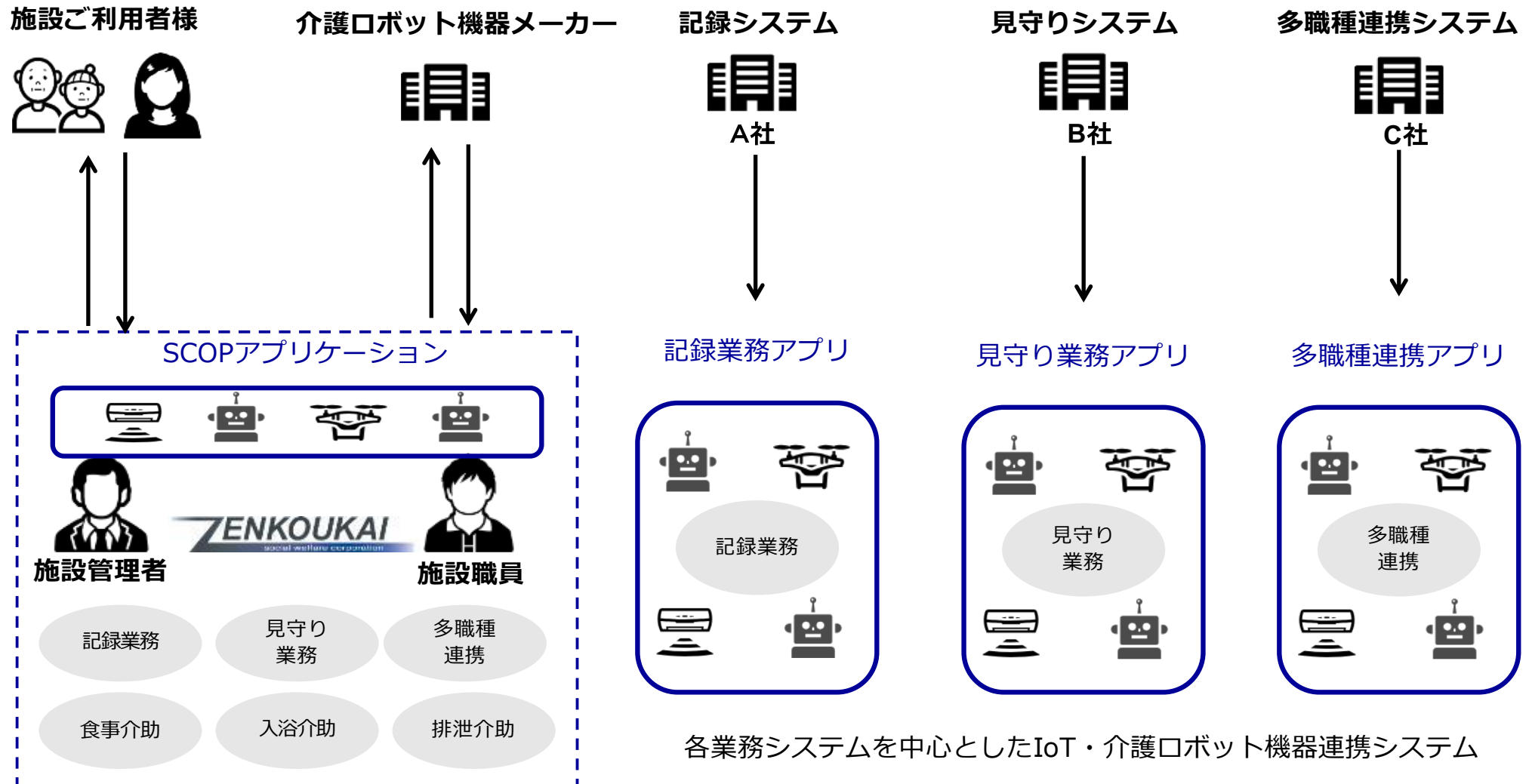
SCOPによるビッグデータ収集

**SCOPが介護ロボット機器や基本システムから
ビッグデータを収集するので、
本当に効果的なサービスがわかる。
そして、ケアオペレーションのAI化を実現する。**

なぜ、善光会がSCOPを作るのか メーカーにはない介護現場視点

CONFIDENTIAL

私たち善光会は、介護現場視点から、UI/UXを設計できる。これは、システム・介護機器メーカーでのIoT・介護ロボット機器統合アプリケーションにはない、独自の視点である。



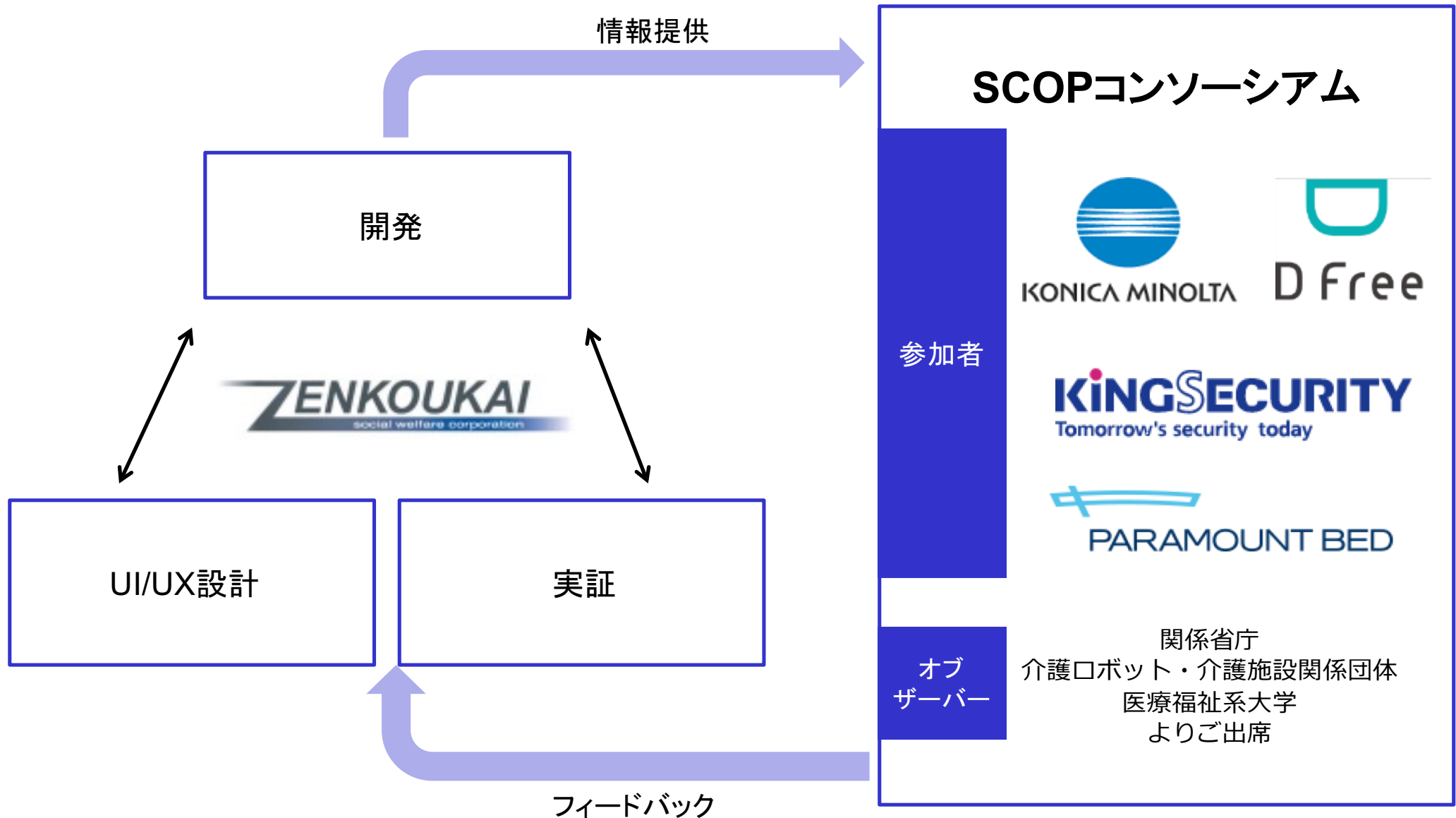
様々なステークホルダーとの関係から
介護現場視点でUI/UXを設計できる

システムの中心業務に焦点を置いたシステム設計は
必ずしも介護現場のニーズに基づいているとは限らない

善光会の研究開発体制

CONFIDENTIAL

善光会にて作成したUI/UX要件定義をコンソーシアムにてフィードバックすることで各メーカーとコンセンサスを図る。



スマート介護プラットフォームの各フェーズ

CONFIDENTIAL

- Generation 1** 機器からの情報を集約的に閲覧・操作できるアプリ開発
介護ロボットレコメン드의実現
- Generation 2** 記録システムとの連動・管理者向けWebサイトの実現
- Generation 3** ケアオペレーションAI・ケアマネジメントAIシステムの実現

	介護現場	ロボット・センサーメーカー
Generation 1	介護ロボット機器を複数同時に効率的に利用できる	標準的なUI/UX環境が実現する
Generation 2	介護ロボットと記録システムが連携しオペレーションが効率化する	介護現場にダイレクトなフォロー・ソリューション提供や機器開発ができる
Generation 3	AIによりオペレーションやケアマネジメントが最適化する	ビッグデータを活用したソリューションや機器開発ができる

CONFIDENTIAL

通常の介護技術に加え、介護ロボット・機器を理解し、顧客に応じて適用できる介護士を育成していく。

スマート介護士とは

今までの介護士に求められた「要介護者の個性に合わせた、生活支援サービスの提供する能力」に加えて、介護ロボット機器を柔軟にオペレーションに組み込むための「柔軟性と創造性」を併せ持つ介護士。

善光会では、ハイブリッド特別養護老人ホームプロジェクトと融合し、スマート介護士プロジェクトを進めている。

■これからの介護士に求められるもの

⇒要介護者の個性に合わせた、介護ロボット機器等をオペレーションに柔軟に組み込むことで最小限の人手で生活支援サービスの提供すること。



技術や機器、
業務に対応する**柔軟性**

技術や機器を組み合わせ、
最適な業務の流れを
創出する**創造性**

⇒**柔軟性と創造性を併せ持つ介護士、
「スマート介護士」 が社会に要請される。**

SMART スマート介護士 資格試験

■善光会での「スマート介護士」育成に向けた取組み



介護ロボット研究室の様々なプロジェクトに介護職をアサイン。



中でも介護ロボットを特定ユニットに集中導入するプロジェクトでは、機器選定・評価から業務設計まで主要な役割を担うことに。

⇒**介護ロボット機器を取り扱うことでスマート介護士を育成。更に育成フローの標準化を図っている。**

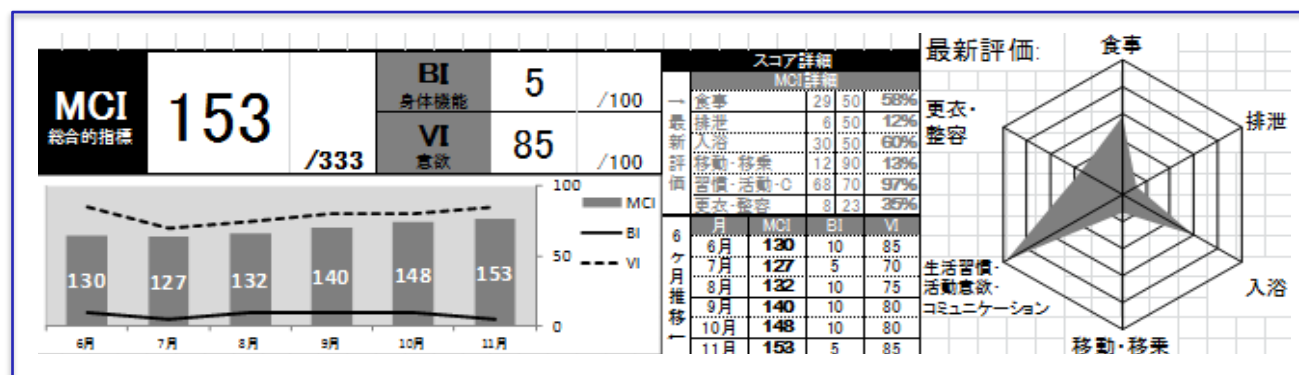
定量的評価に基づいたサービス提供で、アウトカム重視の介護へ。

■ 善光会の取り組み

ご利用者様・施設職員の双方が活用しやすい品質評価スケールを構築し、
「介護」の品質を定量的に算出。
ご利用者様のQOLの向上や自立支援にかかる体系的アウトカム評価を実現する。



先端技術の導入



「介護」の品質評価スケール



介護施設ごとのアウトカム水準が明確に測定できるようになるので
「介護」の品質に対する客観的な評価が可能

**「介護」の品質によって、介護報酬水準を定めれば、
効率的な施設が増えるので、無駄のない介護保険利用につながる**

ご清聴有難うございました。